

1. 地域の概要

中部農林土木事務所の所管する地域は、沖縄本島のほぼ中央部に位置し、北はうるま市・読谷村から南は浦添市・西原町にまたがる4市3町3村から成り立っている。

地形は、海岸部の平地と中央部の標高100m前後の台地が緩やかに連なる丘陵地帯からなり、主要河川である天願川と比謝川が東西に流れている。地域の中央部には広大な米軍基地があり、周辺部に市街地と農漁村が混在する特異な土地利用形態が見られる。

面積は、県全体の12.3%にあたる28,064ha、農用地区域面積は3,364ha(農振地域面積10,834ha)で地域面積の12.0%となっている。土壌は、ジャーガル・島尻マーヅ・国頭マーヅ・沖積土壌から成っている。

また、県内でも都市化の進展が著しいことから、耕地面積は後退の一途で狭く分散し、専業農家率は低く、1戸当たりの経営面積も0.79haと小さい。

農業は、さとうきび・花卉を主体に展開し、葉たばこ・ニンジン・紅芋・オクラ等の産地化に努めている。一方、漁業はパヤオ漁・刺し網・1本釣り・もずく養殖を中心とした沿岸漁業が主で、特にもずく養殖は県内でも上位の生産量を保っている。近年、漁港や沿岸漁場の整備に伴い車エビや海ぶどうの養殖が行われている。

2. 平成25年度事業概要

(1) 農業農村整備事業

亜熱帯・島しょ性に適合した特色ある農村振興を前提に、地域特性に適合した農業生産基盤を推進するため、県営かんがい排水事業・県営畑地帯総合整備事業・農山漁村活性化プロジェクト交付金を実施する。

また、農地を台風等の自然災害から未然に防止する防風林や護岸等の整備を推進するため、農地保全整備事業・水質保全対策事業・地すべり対策事業・ため池等整備事業・海岸保全施設整備事業を実施するとともに、農家のニーズに応えるべく農業基盤整備促進事業を実施する。

(2) 漁港漁場整備事業

地域の漁業は、沿岸漁業が主で漁船も5t未満が多いのが特色である。水産資源の維持増大を図る必要から、漁港の整備(防波堤・波除堤・物揚場・浮き桟橋等)を推進するため、水産生産基盤整備事業・水産流通基盤整備事業・漁村再生交付金等を実施する。

(3) 耕地面積と農家数

市町村名	総人口(人)	販売農家数(戸)	耕地面積(ha)	総農家数(戸)	一戸当り耕地面積(ha)	専業・兼業別農家数(戸)					構成比(%)		
						計	専業	兼業	第1種	第2種	専業	第1種	第2種
うるま市	116,979	659	1,110	1,433	0.77	659	341	318	124	194	51.7	18.8	29.5
沖縄市	130,249	153	163	312	0.52	153	55	98	46	52	35.9	30.1	34
読谷村	38,200	239	836	592	1.41	239	111	128	43	85	46.4	18.0	35.6
嘉手納町	13,827	24	42	47	0.89	24	15	9	7	2	62.5	29.2	8.3
北谷町	27,264	2	10	15	0.67	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0
北中城村	15,951	44	83	174	0.48	44	18	26	9	17	40.9	20.5	38.6
中城村	17,680	173	351	522	0.67	173	65	108	43	65	37.6	24.9	37.5
宜野湾市	91,928	45	52	117	0.44	45	18	27	7	20	40.0	15.6	44.4
西原町	34,766	113	218	334	0.65	113	40	73	27	46	35.4	23.9	40.7
浦添市	110,351	34	10	98	0.10	34	15	19	7	12	44.1	20.6	35.3
中部管内	597,195	1,486	2,875	3,644	0.79	1,484	678	806	313	493	45.7	21.1	33.2
沖縄県	1,392,818	15,123	39,200	21,547	1.82	15,123	7,594	7,529	2,728	4,801	50.2	18.0	31.8

資料:平成24年3月版 農業関係統計



ごーやー



わったー、なべーらー



もーい